

## ◎反響が大きかった提案5選！(令和5年7月～令和6年7月)

各議会において質問(60分)の機会「一般質問」が与えられています。  
市原は、この「一般質問」で常に2～3件の「提案」を市に対して実施しております。  
最近の提案で皆さんから頂いた声が多かった順に並べてみました。



### 第1位 ペットボトルの集積所回収

「ゴミ出しが大変」  
「混在も気になっている」  
「早く実現してほしい」



### 第2位 あさぴー号どこでも乗り降り

「面白いアイデア」  
「バス停が遠く困っている」  
「実現できると良いのに」



### 第3位 小中学校の給食当番

#### エプロン(白衣)の供用廃止

「ぐちゃぐちゃで白衣がまわってくる」  
「柔軟剤のニオイが気になる」

### 第4位 腰掛けられるバス停

「これだけは実現してくれ」  
「屋根もつけてほしい」  
「着目してくれてありがとう」



### 第5位 南海トラフ地震臨時情報への備え

「事前に手順が確認でき、  
ブレなく対応できた」 by 市の職員

## ◎昨年の予算の使い道をチェック(歳入歳出決算認定)

### 1. 小学校プール教育の民間委託について

委託料 約810万円/年(2校分)

#### 維持費の軽減額について

水質調査で30万円/校、修繕費で70万円/校。1校あたり約100万円程度である。

### 2. 市営バス(あさぴー号)について

委託料 約5,300万円/年

#### 成果と現在の状況について

令和5年度:約24万人(前年度比約10%増加)

なお、今年度8月までの利用者は約10.5万人(前年度比約5%増加)

## ◎私は、「日野さりあ」さんを応援します

尾張旭市は、国で定められた法律や予算を基に仕事をします。  
この国の法律・予算を作っている国会議員選びは重要です。  
市議会議員としてどの政党にも属さない、無所属議員ですが、  
今の国政を刷新するべきと考え、私は「日野さりあ」さんを応援します。



尾張旭市議会議員 市原誠二

いっち通信



HPにアクセス

No.27 2024.10

私たちの暮らしを  
私たちみんなで守る

発行:いちほら誠二を育てる会

事務所:晴丘町東111  
TEL:0561-53-1448

## 秋の市議会 活動報告



我が家にいる通算5頭目の介助犬パピー



9月議会で提案を行う市原

今年もあと三か月。皆様  
お変わりないでしょうか?  
9月議会は、昨年のお金  
の使い道チェックなど盛り  
だくさんの内容でした。  
私たちの暮らしの基盤が  
役割を果たせるよう微力な  
ご支援を果たします。

## 提案①:養育費不払防止のため、公正証書作成の費用を補助すべき!

回答:他自治体の実施内容や状況、効果も含め調査し、検討する。



子供の成長を支えるために  
養育費不払い防止に取り組む必要がある

**Q 市原**  
養育費不払防止のために、公正証書作成に係る費用の補助制度を求める。  
**A 市原**  
公正証書作成補助制度について実施内容や効果を調査し、検討する。

**Q 市原**  
養育費不払トラブルに関し、市への相談事例等を伺う。  
**A 市原**  
養育費に関する相談は少ない。しかし、児童扶養手当の現況届の養育費の支払い状況から、継続して養育費の支払いを受けている方は多くない。全国調査の数値(28.1%)と同レベルと思う。

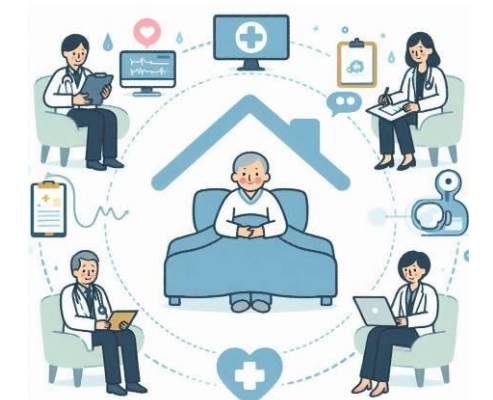
**Q 市原**  
県内の他自治体で導入されている公正証書作成補助制度について実施内容や効果を調査し、検討する。  
**A 市原**  
県内の他自治体で導入されている公正証書作成補助制度について実施内容や効果を調査し、検討する。

## 提案②:在宅医療や介護の連携を強化する「もーやっこ」をもっと活用すべき!

回答:活用促進の具体策を検討しており、例えば医療的ケア児の安否確認訓練を計画している

**Q 市原**  
在宅医療に関する情報を関係者間で共有し、連携を図る瀬戸旭もーやっこネットワーク(以下、「もーやっこ」)の活用状況を伺う。  
**A 健康福祉部長**  
活用状況は他の市と比べると低い。県内の平均には達している。

**Q 市原**  
「もーやっこ」をもっと活用して、支援機関相互の情報伝達や連携をスムーズにするべき。  
**A 健康福祉部長**  
活用状況の調査や活用促進策の検討を行う。なお、安否確認に「もーやっこ」を活用する取り組みも予定している。



在宅医療や介護情報を医師、ケアマネージャー、介護事業所等で共有し連携を強化

# 予算案・条例改正などを9月議会で審議 追加予算 約 9.2 億円の使い道を抜粋し解説します



市民の最後の砦である自治体としての役割を果たすため、「決定プロセスや情報の開示、論理的な対応が重要である」との考えに基づき、私は職責を果たします。

## 1

### グラウンド改修など

#### 環境課

##### ◎一般管理経費

桜ヶ丘集中浄化槽設備廃止工事 0→1,500 万円  
下水道への接続が完了したため、桜ヶ丘町三丁目に設置されている3箇所の地域集中浄化槽や排水管の廃止工事を実施。  
道路下に埋設の管渠はモルタル充填や撤去を実施。なお、集中浄化槽の1箇所は、跡地を生活道路として使用できるよう整備する。  
工事着手は令和6年12月からを予定し、工期は6か月程度。  
※浄化槽の維持管理積立金568万円を地元から市に寄付いただいている。



Q：廃止後、跡地利用について  
付近の市民に意向は確認したか？  
A：事前に町内会に意向を確認した。  
町内会によるアンケートの結果、道路として使用することに。

#### 文化スポーツ課

##### ◎スポーツ施設管理運営事業

城山野球場改修工事  
0→2,200 万円 (1,650 万円分は借金で賄う)

内野グラウンドの整備や雨水排水設備整備を実施する。  
昭和49年に整備されて以来の整備。  
水はけが良くなることを期待している。



## 2

### 児童クラブ拡張など

#### こども未来課

##### ◎こども子育て施設整備事業

旭児童クラブ移設工事 0→600 万円  
旭小学校で実施している児童クラブの場所を動かし定員を拡充する。



#### 健康課

##### ◎予防接種事業

帯状疱疹ワクチン接種委託料 1,000→2,880 万円  
大幅増加の理由は、当初予算時に対象者の約2%、800人程度の接種者を見込み委託料を計上したが、大幅に増え、8月末までに1,340回のワクチン接種を実施し、5か月で約1,300万円程度が見込まれている。今回の補正予算については、対象者の約4%、1,600人程度が接種すると見込み、増額予算を計上した。

帯状疱疹ワクチン接種への関心が高く、多くの方が補助を申請しています。



#### 保険医療課

##### ◎福祉医療費支給事業（障害者、子育て支援）

福祉医療システム改修委託料 0→270 万円  
<改修内容>  
本年12月2日で現在の保険証の新規発行が終了（マイナ保険証へ移行）。マイナンバーカードの情報連携機能の利用により、医療保険に係る資格情報を担当部署の端末で取得できるよう、現在の福祉医療システムにその機能を追加する。

## 3

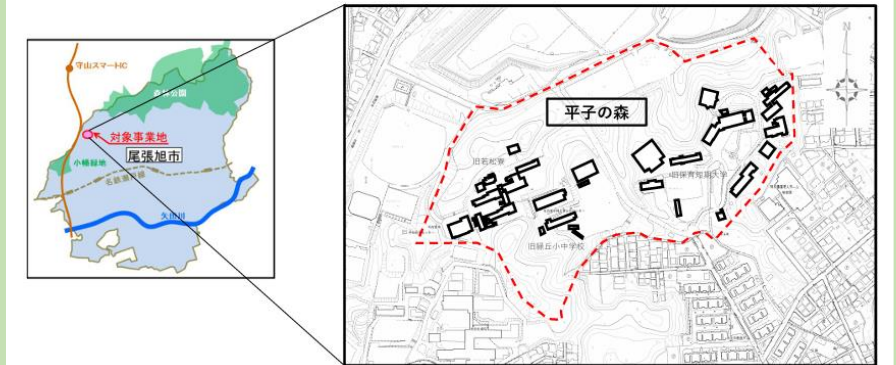
### 平子の森など

#### 企画課

##### ◎平子の森利活用推進事業

建物解体検討委託料 0→200 万円  
市所有の旧名古屋保育短大等跡地にある44の建物の解体の順番やトラックなどの進入路の検討などを行う費用。  
なお、平子の森の維持費は約400万円。  
(おもに、電気代、警備費、草刈り等の費用)

Q：なぜこのタイミング？  
A：物価高の状況下で、解体費の全体を知る必要があった。現在進めている事業の方向転換ではなく、全体が知りたい。「先送りはできない」と市長の想いもある。



#### 広報戦略課

##### ◎ふるさと尾張旭発信事業

シティープロモーション戦略策定支援委託料 0→700 万円  
市の魅力を出すためには？を業者の支援を受け検討する。  
市民参加のワークショップを実施し、市に縁の有名人の参加も検討。

【市原の意見】  
このシティープロモーションの支援委託料、もったいなく感じます。外部コンサルの支援に頼らずとも、元々市のことをよく知っている優秀な職員の手で行うことができます。職員のスキルアップにも繋がるはずです。



※ 2、3ページの写真や図は、尾張旭市予算概要から抜粋しました。